
機動戦士ガンダムSEED BOND【試し書き】

烈火竜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

機動戦士ガンダムSEED BOND【試し書き】

【Nコード】

N3140Y

【作者名】

烈火竜

【あらすじ】

自分なりに書いた試作版です。

(前書き)

ガンダムの小説やMS(機動戦士ガンダムSEED系)を参考にしました。

広がる宇宙空間に数機のMAとMAのクローに掴まれる大型ミサイルが飛翔していた。

それは“オーガ”の部隊だ。

オーガ 憎しみ囚われ、テロ活動を行う鬼達である。

先頭に飛ぶのは茶色い鳥に酷似したMA“ガブスレイ”。オーガの開発した可変MSである。

その後ろに付いて行く戦闘機に酷似したMAは、同じく可変MS“ガザ”。ナチュラルでも簡単に操縦できる量産型の機体である。

目標に発見した

ガザ達が向かった先は“コロニー”だった。

セットするぞ

大型ミサイルを掴む“ガザ”はいったん放してからMSに可変。

“ガザ”の姿は今までの機体より細身であった。

特に特徴なのは“ジン”や“ザク”等と異なる単眼であった。

ミサイルのハッチを開いてスイッチを入れようとした時、

待て、後ろから何か向かって来るぞ！

1機の“ガザ”が背後からくる機影に気付いて知らせた。“ガブスレイ”と数機の“ガザ”も振り向いて確認する。

機影の数は3。こちらに向かって来る。

アレはなんだ？

“ガザ”はメインカメラである単眼を最大にして機影を捉えてみた。

あ、あれは……ガンダム！

そう、機影の正体は3機の“ガンダム”だった。

いたよ、奴らが

オレンジ色の狐を象った、“フォックス”が確認を取った。

戦闘態勢に入つて

赤く、重火器と厚い装甲を備えた、“ベア”が装備を展開させる。
了解！

両腕の上腕がりボルバーと一体化され、下半身と腕部白く、肩や胸部は青い、“オーガガンダム”がビームライフルを構えた。

3機とも少女の発声された。

“フォックス”に乗るのは、ヒビスクス・ヴェステンフルス。

“ベア”に乗るのは、シオン・バジール。

そして“オーガガンダム”に百合・ヤマブキ。

チツ、“BOND”か！

BOND 『平和』を唱え、オーガのテロ活動を食い止める機動部隊である。

数機の“ガザ”はすぐさま可変して、自身の武装のナツクル・バスターを3機の“ガンダム”に向けて構えた。

“ガブスレイ”もMSに可変して、武装のフェダーイン・ライフルを構えた。

撃て！

“ガブスレイ”の合図に、“ガザ”は撃ち始めた。

散開！

シオンの号令ですぐさま3機は同時に散開した。

喰らえ！

“ベア”の背面の片側のミサイルポットからミサイルがいつせいに放たれた。何機かの“ガザ”がミサイルに命中し、残りの“ガザ”はナツクル・バスターでミサイルを撃ち落とした。

はい、隙あり！

“フォックス”の尻尾型の突撃ビーム機動砲は4つに分離し、“ガザ”に目掛けてビームを撃つ。“ドラグーン”システムだ。放たれたビームは“ガザ”の頭や手足、武装を次々と破壊していく。4つの機動砲は撃つ度に素早く動いて狙い撃つ。

くそ！

1機の“ガザ”はMSに可変し、ビームを撃ちながら“フォックス”に突撃する。

ふん！

ヒビスクスは機動防盾でビームを防ぐと、ヒビスクスは“フォックス”の武装ビーム・クローを展開させる。突撃する“ガザ”が通り過ぎた瞬間を狙い、肩のスラスタから脚部クローを切り裂いた。「もう一丁！」

ヒビスクスは更にもう片方のスラスタと脚部クローも切り裂いた。

は、速い！

大型ミサイルの近くにいる“ガザ”の2機は“フォックス”の動きに驚いた。お前らが遅いだけだ

いつの間にか“ベア”は武装メガランチャーを構える。狙うのは大型ミサイルだ。

「ミサイルから離れる！」

そう言いながらシオンはメガランチャーの引き金を引いた。メガランチャーは強力なビームを放った。

ビームは大型ミサイルに命中し、大爆発した。

ぐわっ！！

大爆発に巻き込まれた2機の“ガザ”は大破した。

「だから『離れる』って、言ったのに」

撃った張本人のシオンは呆れる。

百合は“ガブスレイ”と一対一で交戦をしていた。互いにビームを撃ち合う。

これも味わえ！

両肩と一体化されているメガ粒子砲も撃つ。

「わっ、ずるい！」

百合は機動防盾でビームを防ぎながら必死に避ける。時折、ビー

ムライフルで撃ち返すが、避けられる。

「動きを読まなきゃ」

百合は“ガブスレイ”の動きをしっかりと見る。

(向こうのビームライフル(フェダーイン・ライフル)は何発も撃てるけど、肩のビームは撃つ後は動きが止まる)

百合は考えてひらめいた。百合は“ガブスレイ”へ向かって行く。

馬鹿め

“カブスレイ”はビームを撃つが、百合は機動防盾で防ぐ。次にメガ粒子砲を撃つ。百合は粒子のビームを機動防盾で防ぐが壊れそうになる。壊れる寸前で機動防盾を手離し上へと上がって、ビームライフルを“ガブスレイ”に向けて撃つ。“ガブスレイ”は瞬時に避けるが、フェダーイン・ライフルはビームに当たって破壊される。くそっ！

“ガブスレイ”はビームサーベルを展開させ、百合を斬ろうと向かって行く。“オーガガンダム”もビームライフルを捨て、ビームサーベルを展開されて受け止める。

もう降伏して！

貴様ら偽善者の施しなど要らん！

百合の投降を一喝した。“オーガガンダム”と“ガブスレイ”のビームサーベルがぶつかり激しく火花を散らす。

“ガブスレイ”はいったん後ろへ下がりが、脚部のクローを展開させてから素早く“オーガガンダム”の上腕を掴んだ。

しまった！

喰らえ！

“カブスレイ”のメガ粒子砲が“オーガガンダム”を狙う。

「やられる！」

と百合は焦ると、“フォックス”のビーム突撃砲“ガブスレイ”のメガ粒子砲に目掛けて貫いて破壊した。

危なかつたわね百合

ありがとうビビ。さて、こっちの番よ！

“オーガガンダム”の上腕のリボルバーを高速回転させて、クローを破壊する。機体を右側へひねらせて、右腕で殴る体勢になりながら足と背面のスラスタを噴射する。右腕の上腕内で、弾丸が装填され、リボルバーが火花を散らしながら回転。“ガブスレイ”の腹部へ目掛け、「オーガナックル！」と叫んで右の拳を打ち込んだ。打ち込む瞬間、装填された弾丸に込められたエネルギーは強い衝撃波を生み出す。

うわっ！！

“ガブスレイ”の腹部は衝撃波に耐えきれずに粉碎された。“オーガガンダム”の右上腕から空薬莢が飛び出る。

“ガブスレイ”のハッチが開き、パイロットが背中に背負ったジェット機を噴射させて飛び出し、“ガブスレイ”は爆発した。

百合は“オーガガンダム”の手を使ってパイロットを捕まえた。

「投降しなさい」

パイロットは諦めて観念した。

殺さず、任務完了ね

百合、よくやったわ

「うん」

『敵を殺さず、テロを防ぐ』これはBONDの信念であり規則である。

そして彼女達が、機動部隊BONDの、ガンダムに乗る若き戦士である。

終わり

(後書き)

敵のMSはガンダムZを使ってみました。
感想と指摘を待っています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3140y/>

機動戦士ガンダムSEED BOND【試し書き】

2011年11月16日13時20分発行